

事 務 連 絡
平成 30 年 2 月 2 日

各都道府県人材開発主管課（部）長 殿

厚生労働省人材開発統括官付
企業内人材開発支援室長補佐

認定訓練助成事業の実施に当たっての目標設定（本格実施）
の取扱いについて

認定訓練助成事業の業務運営につきましては、平素より多大な御尽力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、平成 28 年度行政事業レビュー公開プロセスにおける指摘の対応として、標記については、平成 29 年 3 月 31 日付能育発 0331 第 1 号により、目標設定の取扱いについて通知し、平成 29 年度は試行実施として各訓練施設において、訓練施設、科・コースごとの目標を設定、登録を頂いているところです。平成 30 年度からは本格実施として取り扱っていくこととしていますので、下記により適切な運用をお願いします。

記

1 目標設定等について

新年度の目標設定に当たり、アウトプット目標については前年度実績の目標評価、アウトカム目標については前々年度実績の目標評価（以下「各目標評価」という。）を参考に目標設定を行う。

（1）目標設定

- ア 目標設定は、アウトプット目標とアウトカム目標を設定すること。
- イ アの設定は、訓練施設、訓練の科・コース毎に設定すること。
- ウ 目標設定に当たっては、（3）を踏まえて項目、数値等を設定すること。
- エ 参考とする各目標評価の目標値と比べ、目標数値が低くなっているもしくは目標項目が変わっている場合は、変更理由についてもヒアリ

ングを行うこと。暗にただ達成しなかったので目標数値を下げたなどの理由は認めず、再検討を行うよう指示すること。

なお、平成 30 年度の目標設定に当たっては、平成 29 年度の試行実施で設定した各目標の結果もしくは途中経過を参考にして項目、数値を設定すること。

(2) 都道府県による実施状況の確認等のヒアリング

ア アウトプット目標

- ①訓練が開始されている科コース及び終了している訓練について目標の結果及び結果に対する訓練施設の評価についてヒアリング。
- ②設定した目標についての評価（目標設定として妥当だったか等）
- ③前年度の目標に対する評価についてヒアリング。

イ アウトカム目標

- ①訓練が終了している科コースについては結果及び評価、また訓練中の科コース及び、訓練が終了しているが、結果がまだ出ていない場合（例えば、目標設定が、技能検定の合格率など）については進捗状況についてヒアリング。
- ②設定した目標についての評価（目標設定として妥当だったか等）
- ③前々年度の目標に対する評価についてヒアリング。

(3) 評価

訓練施設による目標評価は、目標を達成した場合は、更に高い達成となるように、また、目標を達成できなかった場合は、目標達成に向け、それぞれ、目標評価を踏まえ、訓練カリキュラムや時間配分等の見直し検討を行い、それらを踏まえて目標の設定を行う。

ア アウトプット目標の評価

訓練実施年度内に結果が出るため、翌年度に評価を行う。

イ アウトカム目標の評価

訓練実施年度の翌年度まで結果が分からない目標もあることから、訓練実施年度の翌々年度に評価を行う。

(4) 実施時期等

上記（1）から（3）のそれぞれの実施時期等は以下のとおりです。

ア 上記（１）の目標設定については、前年度の３月中に各訓練施設において目標設定を行い様式１により、４月１５日までに都道府県に報告。

都道府県は、各訓練施設分を取りまとめて様式１により、５月３１日までに国に報告。

イ 上記（２）のヒアリングの実施については、９月から１２月中に実施すること。ただし、都道府県において計画的に訓練施設の監査等を行っている場合はその時期に併せて実施しても構わない。なお、１月以降の実施の場合は、前倒しでの実施をお願いします。

ヒアリング結果については、様式２により、１月３１日までに国に報告。

ウ 上記（３）の評価については、アウトプット目標の評価及びアウトカム目標の評価ともに上記（４）イの都道府県のヒアリングまでに評価を行う。

また、ヒアリング時に様式３を都道府県に提出する。

〈参考〉

アウトプット目標・・・訓練を実施するに当たって、訓練施設の努力によって変動する成果を目標とする。

例：〇〇科の定員を１００％確保する。

訓練施設全体の訓練生の定員に対する充足率を〇〇％以上とする。

など

アウトカム目標・・・訓練を実施した結果、訓練開始時と比べて、訓練修了後の理解度、資格など習得させるものを目標とする

例：訓練修了後、〇〇試験に△△％合格させる。

訓練を修了した訓練生が、事業所における定着率を〇年以内に〇〇％以上にする。

など